



おいらせ

非洪水期を迎えました！

日頃より、八戸ダムの管理にご協力いただきありがとうございます。

落ち葉が舞い、吐く息が白くなり、寒さの身にしみる季節となりました。

八戸ダムでは洪水期（6月16日～9月30日）が終わり、非洪水期

（10月1日～6月15日）に入りました。洪水期と比べて非洪水期には、

まとまった雨が少なくなりますので、発電効率を高めるため、ダムの水位を

上昇させていきます。



注目!

今年度の洪水期をふりかえって

今年の洪水期は、6月に1日、7月に6日、8月に2日、9月に4日、合計13日に及ぶゲート放流を行いました。

今年の雨量は、平成30年～令和4年までの5年間の洪水期平均総雨量（842mm）よりも少ない年（695mm）となりました。また、ダムへの流入量（ダムへ入ってくる水の量）が洪水（毎秒200t以上の流入量のこと）とならない年となりました。これは平成28年以来、7年ぶりのことでした。

以上のように、今年は例年になくまとまった雨が降らない年となりました。しかし、今年の冬は暖かくなるといわれていますので、融雪（雪が解けること）によりダムへ流れる水が増え、放流を行う可能性があります。

その際、サイレンと放送を鳴らしますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。



今年の放流の様子（6月）



